

計画の名称	物流の活性化と賑わいの空間創出計画（防災・安全）																																					
計画の期間	平成27年度～令和元年度（5年間）			交付対象	山形県																																	
計画の目標	酒田港をはじめとする県内港湾は、国内、国内輸送や対岸貿易など物流の拠点となっているほか、古くから文化や人々の交流の場となっており、周辺には歴史的施設も数多く存在している。特に酒田港はコンテナ取扱貨物量の伸びが堅調である。その一方で、建設後50年以上経過する港湾施設が10年後には半数を超えるなど、防災安全の面で課題がある。既存施設の老朽化対策を進めるとともに、避難港の防波堤建設、港湾施設の維持管理計画策定、災害時緊急輸送ルートに指定された橋梁の耐震化を確実に実施し、港湾全体の安全性を向上させる。																																					
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化などにより使用制限のある施設、もしくは破損等により安全面からも改良が必要な施設の整備率を70%にする。 鼠ヶ関港の平佐浜泊地における避泊水域の確保及び船舶航行の安全を図るための施設整備延長をH29までに100%に向上させる。 臨港道路（舗装部）の維持管理計画をH29年までに40施設分整備する。 橋梁の耐震化工事の達成率をH29年度までに100%にする。 																																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H29末)</th> <th>最終目標値 (H31末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>老朽化などにより改良の必要な施設を集計する。 (施設改良率) = (改良完了施設) / (要改良施設: 32施設) (%)</td> <td>0%</td> <td>19%</td> <td>70%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>避難港の避泊水域の確保及び航行の安全のための施設整備延長を集計する。 (施設整備率) = (施設整備完了延長) / (施設整備計画総延長: 677m) (%)</td> <td>637m</td> <td>637m</td> <td>677m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理計画書の策定施設数を集計する。 (維持管理計画書策定達成率) = (計画書策定施設数) / (計画書策定予定全施設数: 40施設) (%)</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震化工事達成率を工事施工延長から算出する。 (耐震化工事達成率) = (工事完了延長) / (計画施工延長: 405m) (%)</td> <td>385m</td> <td>405m</td> <td>405m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	老朽化などにより改良の必要な施設を集計する。 (施設改良率) = (改良完了施設) / (要改良施設: 32施設) (%)	0%	19%	70%		避難港の避泊水域の確保及び航行の安全のための施設整備延長を集計する。 (施設整備率) = (施設整備完了延長) / (施設整備計画総延長: 677m) (%)	637m	637m	677m		維持管理計画書の策定施設数を集計する。 (維持管理計画書策定達成率) = (計画書策定施設数) / (計画書策定予定全施設数: 40施設) (%)	0%	100%	100%		耐震化工事達成率を工事施工延長から算出する。 (耐震化工事達成率) = (工事完了延長) / (計画施工延長: 405m) (%)	385m	405m	405m	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																		
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)																																			
老朽化などにより改良の必要な施設を集計する。 (施設改良率) = (改良完了施設) / (要改良施設: 32施設) (%)	0%	19%	70%																																			
避難港の避泊水域の確保及び航行の安全のための施設整備延長を集計する。 (施設整備率) = (施設整備完了延長) / (施設整備計画総延長: 677m) (%)	637m	637m	677m																																			
維持管理計画書の策定施設数を集計する。 (維持管理計画書策定達成率) = (計画書策定施設数) / (計画書策定予定全施設数: 40施設) (%)	0%	100%	100%																																			
耐震化工事達成率を工事施工延長から算出する。 (耐震化工事達成率) = (工事完了延長) / (計画施工延長: 405m) (%)	385m	405m	405m																																			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,881百万円	A	1,881百万円	B	百万円	C	百万円	そのほか関連する事業 (D)	百万円																												

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
第三者委員会である「山形県公共事業評価監視委員会」から意見を聴取し評価を行う	定量的指標の公表後
	公表の方法
	ホームページによる公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H27	H28	H29	H30	R1		
A02-001	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	維持管理	酒田港長寿命化計画策定	臨港道路 N=27	酒田港						5	
A02-002	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	維持管理	加茂港長寿命化計画策定	臨港道路 N=7	加茂港						1	
A02-003	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	維持管理	鼠ヶ関港長寿命化計画策定	臨港道路 N=6	鼠ヶ関港						1	
A02-004	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	防波堤（南）改良	防波堤改良 L=582m	酒田港・本港地区						82	
A02-005	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	大浜陸橋改良	橋梁耐震化 1基	酒田港・本港地区						9	
A02-006	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	建設	防波堤（西）建設	防波堤建設 L=40m 灯台建設 N=1基	鼠ヶ関港・平佐浜地区						280	
A02-007	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	宮海船だまり物揚場改良	エプロン打替え L=20m	酒田港・北港地区						6	
A02-008	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	水産第2岸壁改良	被覆防食 L=50m	酒田港・本港地区						74	
A02-009	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	第2酒田PBS物揚場（B）改良	被覆防食 L=49m	酒田港・本港地区						17	
A02-010	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	西ふ頭岸壁取付護岸改良	被覆防食 L=45m	酒田港・本港地区						30	
A02-011	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	石油基地航路護岸改良	被覆防食 L=285m	酒田港・本港地区						167	
A02-012	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	高砂取付護岸改良	被覆防食 L=113m エプロン補修 L=113m	酒田港・外港地区						130	
A02-013	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	宮海第3号岸壁改良	補修設計 L=130m 被覆防食 L=130m	酒田港・北港地区						1	

A02-014	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	宮海第4号岸壁改良	補修設計 L=130m 被覆防食 L=130m	酒田港・北港地区							1	
A02-015	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	宮海第5号岸壁改良	補修設計 L=150m 被覆防食 L=150m	酒田港・北港地区							23	
A02-016	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	新井田川左岸(-4.0m)物揚場改良	補修設計 L=60.6m 被覆防食 L=60.6m	酒田港・本港地区							4	
A02-017	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	新井田川河口泊地(-3.0m)浚渫	浚渫 V=8,430m3	酒田港・本港地区							22	
A02-018	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	SOLASふ頭改良	SOLAS監視装置改良	酒田港・外港地区							200	
A02-019	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	改良	岸壁改良	防舷材 L=193m コーナー材 L=193m	加茂港・加茂地区							74	
A02-020	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	第1船だまり(-2.0m)浚渫	浚渫 V=1,800m3	酒田港・本港地区							20	
A02-021	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	新井田川河口(-4.0m)泊地浚渫	浚渫 V=4,000m3	酒田港・本港地区							36	
A02-022	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	改良	加茂港泊地浚渫	浚渫 V=25,000m3	加茂港・加茂地区							87	
A02-023	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	宮海線道路改良	切削オーバーレイ A=7,350m2	酒田港・北港地区							30	
A02-024	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	酒田臨海1号線補修	路上路盤再生 A=630m2	酒田港・北港地区							6	
A02-025	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	船場町線補修	切削オーバーレイ A=300m2	酒田港・本港地区							2	
A02-026	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	大浜宮海線補修	大浜宮海線補修路上路盤 再生 A=4,600m2	酒田港・北港地区							33	
A02-027	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	大浜(-7.5m)泊地浚渫	浚渫 V=10,000m3	酒田港・本港地区							30	
A02-028	港湾	一般	山形県	直接	山形県	重要	改良	大浜(-7.0m)泊地浚渫	浚渫 V=8,000m3	酒田港・本港地区							24	
A02-029	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	改良	浜町泊地	浜町泊地浚渫 V=15,000m3	加茂港・加茂地区							66	
A02-030	港湾	一般	山形県	直接	山形県	地方	改良	航路	浚渫 V=135,000m3	加茂港・加茂地区							420	
合計																	1,881	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	R1		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	R1		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

その他関連する事業																	
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H27	H28	H29	H30	R1			
合計																	

A'	百万円	B'	C'	$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$
----	-----	----	----	---------------------------------------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した港湾施設の改良等を計画的に行い、港湾全体の安全性が向上し、物流の活性化や賑わい空間の創出に寄与した。 ・鼠ヶ関港の防波堤（西）延伸整備が完了したことで、港内静穏度が確保され、船舶航行の安全性が向上した。 ・臨港道路40施設について維持管理計画書を策定し、対策工事の優先順位付けが可能となったことにより、臨港道路の適正な管理に寄与した。 ・第2次緊急輸送道路である大浜陸橋の耐震化が完了したことで、緊急時の通行において、安全性が確保された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（老朽化などにより改良が必要な施設の改良率）	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	一部の施設について、当初予定していた老朽化対策に係る予算が確保できず、目標値70%のうち64%の事業進捗にとどまったものの、概ね目標を達成した。
		最終実績値	64%		
	指標②（整備延長率）	最終目標値	677m	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成した。
		最終実績値	677m		
	指標③（港湾施設の維持管理計画書の策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成した。
		最終実績値	100%		
	指標④（大浜陸橋の耐震化率）	最終目標値	405m	目標値と実績値に差が出た要因	目標を達成した。
		最終実績値	405m		
3. 特記事項（今後の方針等）					
引き続き、計画的に老朽化対策工事を進め、港湾施設の安全性の向上に努めていきたい。					